

いなべ市 議会だより

第27号

平成22年11月1日

発行
三重県いなべ市議会
編集
議会広報編集委員会



十社小学校運動会

秋空の下、元気いっぱい。日ごろの成果を発揮しました。

9月定例議会

- 平成21年度決算を認定……………P2～P3
- 常任委員会の審査結果……………P4～P6
- 反対VS賛成討論……………P7～P11
- 議案の審議結果一覧表……………P11
- 議員発議の決議案が可決……………P12
- 11人が一般質問……………P13～P18
- 市民の声……………P19
- クイズの当選者・議会広報編集委員会……………P20
- 編集後記・12月定例議会(予定)……………P20

平成21年度決算

一般会計

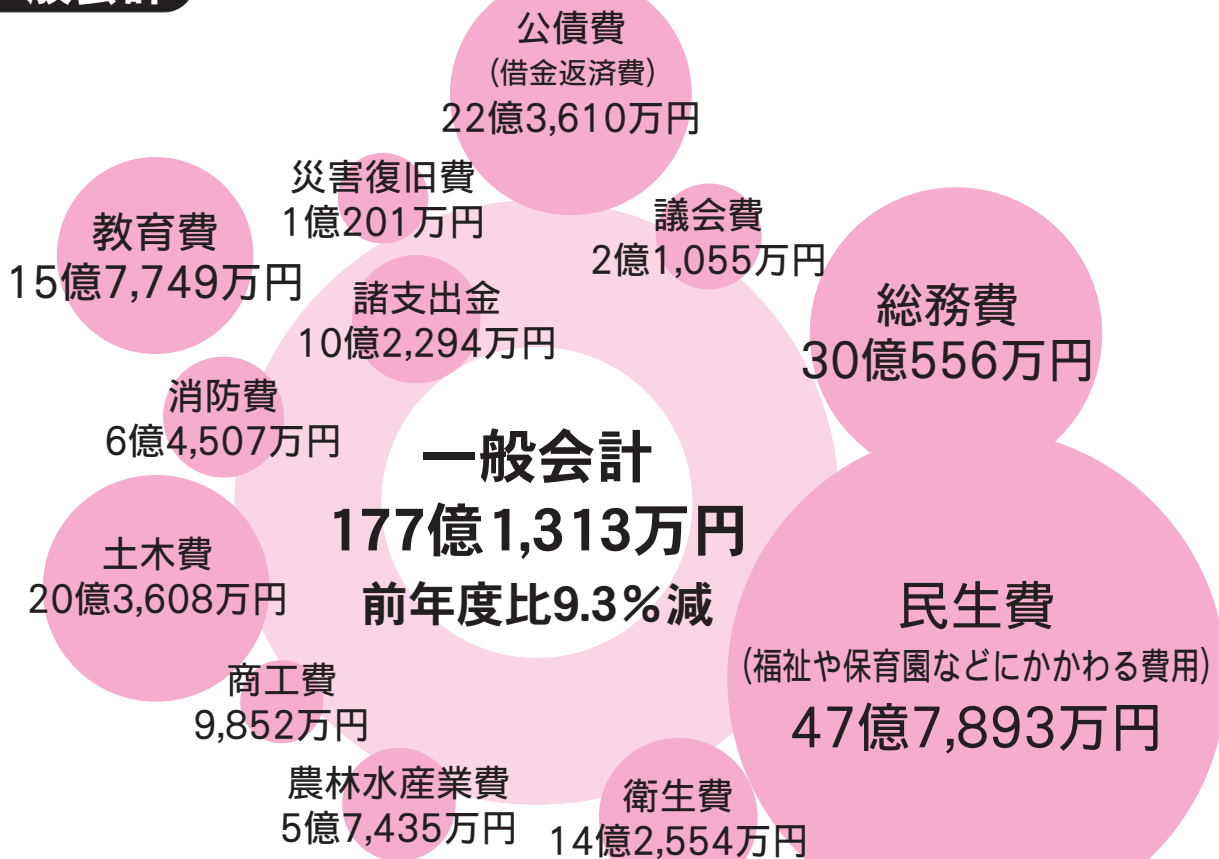


図1 科目別歳入決算の比較

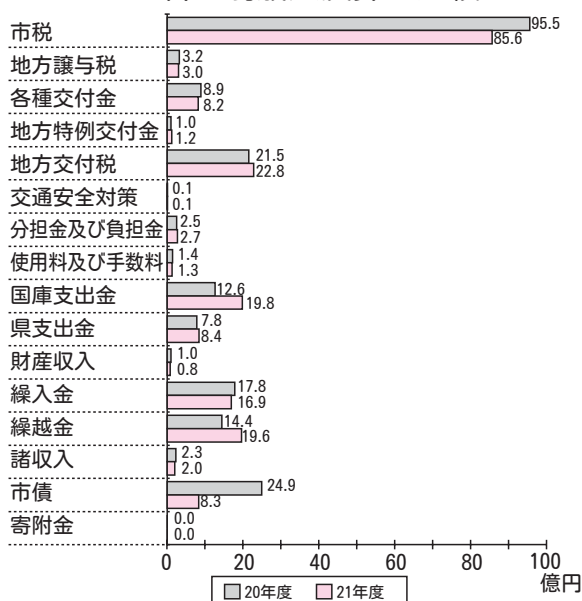


表1 市税決算の状況

(単位：千円、%)

区 分	平成21年度		平成20年度		比 較		市民1人あたり負担額(円)
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	増 減 A-B	伸び率 (A-B)/B	
市 民 税	2,844,125	33.2	3,969,861	41.6	△ 1,125,736	△ 28.4	62,729
個 人	2,530,580	29.6	2,521,118	26.4	9,462	0.4	55,813
法 人	313,545	3.7	1,448,743	15.2	△ 1,135,198	△ 78.4	6,915
固定資産税	5,351,785	62.5	5,191,006	54.3	160,779	3.1	118,037
軽自動車税	110,642	1.3	107,729	1.1	2,913	2.7	2,440
市たばこ税	244,636	2.9	273,395	2.9	△ 28,759	△ 10.5	5,396
鉱 産 税	8,740	0.1	10,770	0.1	△ 2,030	△ 18.8	193
合 計	8,559,928	100.0	9,552,761	100.0	△ 992,833	△ 10.4	188,794

注) 市民1人あたり負担額は平成21年度の数値です。(人口は、H22.4.1現在住民基本台帳人口45,340人)
表示単位未満四捨五入のため、積み上げと合計が不一致の場合があります。

を認定しました

特別会計
企業会計

(水道事業)

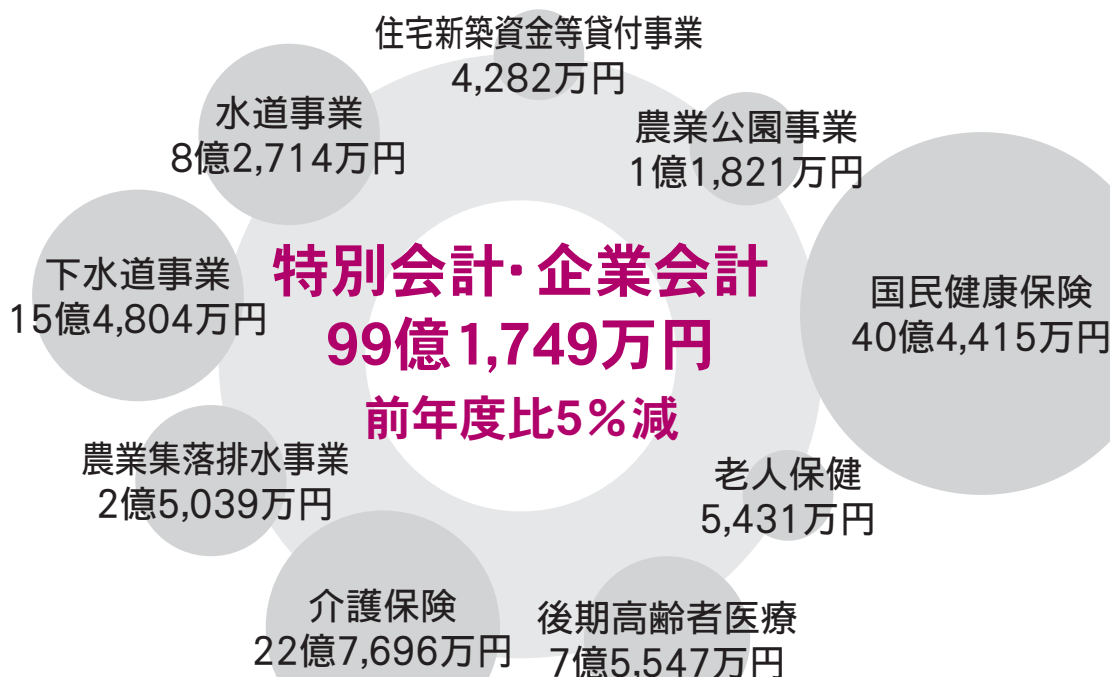


図2 全会計地方(借金)債現在高の推移

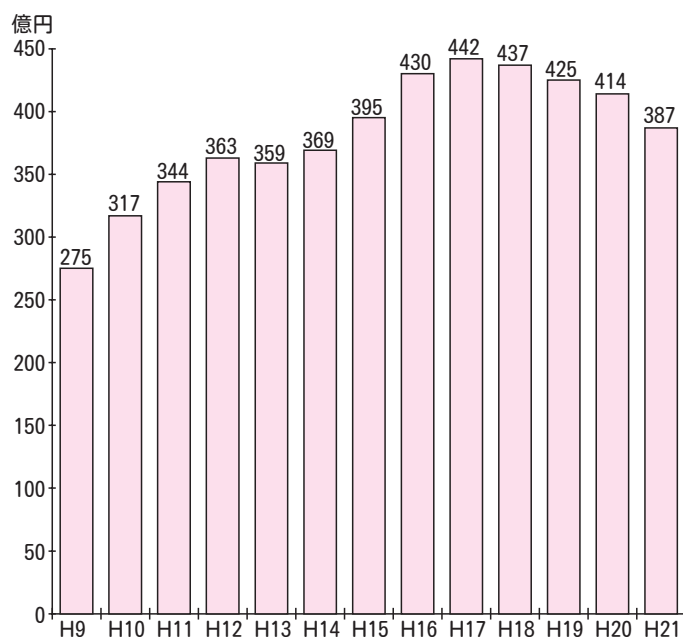
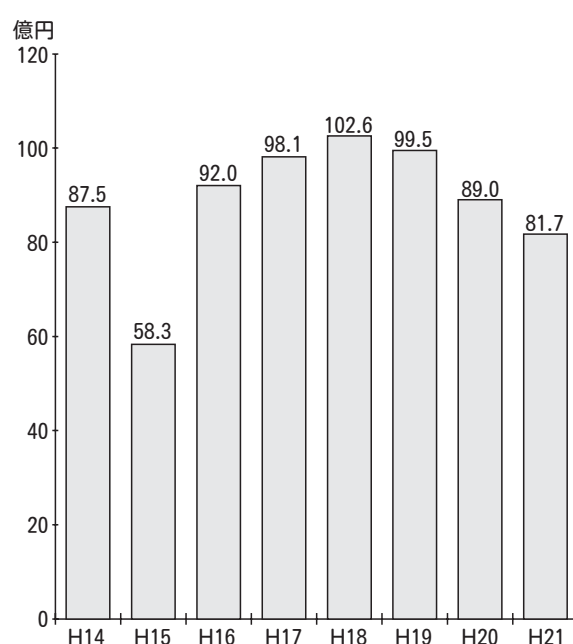


図3 全会計基金(貯金)の推移



常任委員会の審査結果

総務常任委員会

付託案件の審査、9月14日（議案9件）

- 消防団員等公務災害補償条例の一部改正……………（全員賛成）
- 土地開発基金条例を廃止する条例……………（全員賛成）
- 財産の取得について（消防車両購入）……………（全員賛成）
- 桑名・員弁広域連合規約の変更に係る協議……………（全員賛成）
- 平成22年度一般会計補正予算（第5号）……………（全員賛成）
- 平成21年度一般会計歳入歳出決算認定……………（全員賛成）
- 議員報酬の削減を求める請願……………（賛成少数）
- 議員定数の削減を求める請願……………（賛成少数）
- 市長の給与の削減を求める請願……………（賛成少数）

委員会での主な質疑

土地開発基金条例を廃止する条例

Q 市土地開発基金の廃止は員弁土地開発公社との財政関連はあるのか。

A 開発基金の事業が休眠状態であり、公社自体の解散ではなく基金の廃止である。土地については普通財産として地域のニーズで公有財産の有効活用を図り、開発基金の4億3千万円は財政調整基金に繰り入れていく。所管も企画部から総務部へと変わる。

平成21年度一般会計歳入歳出決算認定

Q 秘書事務費について、市長交際費が減った理由は。また、市長会への会費等の支払い状況は。

A 市長交際費が減ったのは香典の廃止によるものである。また、市長会等負担金で全国、東海、県の名市長会費を支払っている。



秘書事務を担う広報秘書課（員弁庁舎）

～委員長としての1年間の総括 川瀬 利夫 委員長～

総務常任委員長としての約1年間を振り返ると、今までの委員として質問をする立場とは違い、委員会を取りまとめることに苦労しました。特に付託案件審査で委員からの質問や討論について自分なりの判断が難しかったです。

しかし、この1年間を通じて周囲の方々に協力をいただき、自分自身も知識を深め責任をもって終えることができました。議員としても大きな経験となったことに感謝したいと思います。

教育民生常任委員会

付託案件の審査、9月15日（議案14件）

- 重度障害者生活支援センター条例の制定……………（全員賛成）
- 訴えの提起……………（全員賛成）
- 平成22年度一般会計補正予算（第5号）……………（全員賛成）
- 平成22年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）……………（全員賛成）
- 平成22年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）……………（全員賛成）
- 平成22年度介護保険特別会計補正予算（第1号）……………（全員賛成）
- 平成21年度一般会計歳入歳出決算認定……………（賛成多数）
- 平成21年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定……………（全員賛成）
- 平成21年度市老人保健特別会計歳入歳出決算認定……………（全員賛成）
- 平成21年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定……………（全員賛成）
- 平成21年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定……………（賛成多数）
- 30人学級を柱にした新たな『教職員定数改善計画』策定と
教育予算拡充を求める請願……………（全員賛成）
- 保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める請願……………（全員賛成）
- 義務教育費国庫負担制度の存続と全額国負担を求める請願……………（全員賛成）

委員会での主な質疑

平成22年度一般会計補正予算（5号）

- | | |
|--|---|
| <p>Q スクールバスの運行委託は4月より始まっているが、なぜ、9月補正予算に計上するのか。</p> | <p>A できるだけシルバーで運転手を確保して、三岐鉄道(株)の運転手を1人でも削減しようと考えていた。</p> |
| <p>Q あじさいクリーンセンターの焼却灰について、太平洋セメント(株)で処理を依頼できないのか。</p> | <p>A 交渉してみたが、混合灰なので処理できないとのことである。</p> |



焼却灰が積んであるトラック（あじさいクリーンセンター）

～委員長としての1年間の総括 位田 まさ子 委員長～

皆様には1年間お世話になりました。市民の生活に直結する市民部、教育委員会、福祉部の所管事業を審査する教育民生常任委員長として、私なりに精一杯務めさせていただきました。これを礎に今後も議会議員として努力させていただきます。

産業建設常任委員会

付託案件の審査、9月16日（議案14件）

- 青川峡キャンプパーク条例の一部改正……………（全員賛成）
- 市道路線の認定……………（全員賛成）
- 平成22年度一般会計補正予算（第5号）……………（全員賛成）
- 平成22年度住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）……………（全員賛成）
- 平成22年度農業公園事業特別会計補正予算（第1号）……………（全員賛成）
- 平成22年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）……………（全員賛成）
- 平成22年度下水道事業特別会計補正予算（第1号）……………（全員賛成）
- 平成22年度水道事業会計補正予算（第1号）……………（賛成多数）
- 平成21年度一般会計歳入歳出決算認定……………（賛成多数）
- 平成21年度住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定……………（全員賛成）
- 平成21年度農業公園事業特別会計歳入歳出決算認定……………（全員賛成）
- 平成21年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定……………（全員賛成）
- 平成21年度下水道事業特別会計歳入歳出決算認定……………（全員賛成）
- 平成21年度水道事業会計決算認定……………（賛成多数）

委員会での主な質疑

平成22年度一般会計補正予算（5号）

Q 青川峡キャンプパーク利用料はオフシーズンに限って、いなべ市民、いなべ市内事業所に勤める人は半額だが、他に市民等に限った特典はないのか。

A 今のところ、他に特典はない。



青川峡キャンプパーク内のコテージ

平成22年度農業公園事業特別会計補正予算（第1号）

Q 農業公園のドッグラン施設の利用状況は。

A 本年度から開園し、土、日曜日、祭日にインストラクターが来てお客さんに利用してもらっている。今までで400頭ほど利用し、使用料収入が50万円ほど。

～委員長としての1年間の総括 小林 昌彦 委員長～

9月定例会より常任委員会の審査が別々の日に開催された試みは、所属委員会以外の傍聴が可能となり、議会改革の一つの成功であると思う。

反対 VS 賛成討論

本会議において反対・賛成の討論があった議案は次のとおりです。

●平成22年度一般会計補正予算（第5号）

（賛成多数 可決）

本年度に行った事業を詳しく調査し、それぞれ必要な経費の増額や不要な経費の減額を補正するものです。

反対討論

衣笠 民子 議員

「水道料金の値上げには反対」

本補正予算のうち、款4 衛生費 項1 保健衛生費 目4 環境衛生費3千万円の減額補正は、本年6月議会でも水道料金の値上げを可決し、10月からの実施にともない水道料金として水道会計で増収となって、一般会計からの繰り入れを減額しようとするものである。

日本共産党いなべ市議団は、景気の悪化で市民のくらしは厳しく、水道料金の値上げはすべきでないと指

摘し、6月議会で水道料金の値上げに反対した。今議会にも議員報酬、議員定数、市長給与の削減を求める請願が提出され、理由の一つとして各種公共料金の値上げ等が市民の経済状況を厳しくしているとされている。その一方、いなべ市の平成21年度決算状況を見るとけっしていなべ市の財政状況がひっ迫しているとは言えない。したがって、今でも水道料金の値上げは、すべきではないと確信し、この一般会計の3千万円の減額補正に反対するものである。

●平成22年度水道事業会計補正予算（第1号）

（賛成多数 可決）

本年度に行った事業を詳しく調査し、それぞれ必要な経費の増額や不要な経費の減額を補正するものです。

反対討論①

清水 実 議員

「水道料金の値上げの前に努力を」

水道料金の値上げや一般会計からの繰入の方法以外に何ら努力の跡がなく、汗や知恵を出せば料金を値上げせずとも水道事業が運営できると思い反対する。

とどまらず、地域経済をいっそう冷え込ませることになる。②大口利用者の料金適正化について、審議会の答申にも付帯されているのに、今回の提案には何もふられていない。という2点で反対したが、他の議員の方々が賛成し可決となった。

今回の議案は、いよいよこの10月から水道料金を値上げし、来年3月までの半年間で3,000万円の水道料金の収入増を見込んでの提案である。日本共産党いなべ市議団は、6月議会討論と同趣旨、すなわち水道料金の値上げは、①家計に対する影響と地域経済を冷え込ませる。②値上げの前にやることがある。大口利用者負担の適正化という点で賛成できない。

反対討論②

多湖 克典 議員

「水道料金統一が先決である」

反対の立場で討論する。我々政和会は6月議会の水道料金改定で反対したが、賛成多数により可決された。この水道料金値上げによる増収の補正に対しては賛成できない。本来は市内の水道料金統一が先決である。

賛成討論

太田政俊 議員

「水道料金の値上げは 平等な権利のために仕方がない」

格差是正、いなべ市民が平等な受益者負担をするための前提で水道料金の値上げをしている。反対ばかりでは水道事業が運営できない。

反対討論③

石原 瞭 議員

「水道料値上げは家計と地域を圧迫・ 大口利用者に応分の負担を」

3月議会に市長の施政方針で水道料金の値上げが言及され、6月議会に提案された。日本共産党いなべ市議団は、そのとき①景気の悪化で家計が苦しく、市民のくらしが大変な今日、国民健康保険料・保育料に続く値上げは、家計に対する影響も大きく、それだけに

いなべ市議会だより

●平成21年度一般会計歳入歳出決算認定

(賛成多数 可決)

平成21年度の決算を、地方自治法の規定により、監査委員の意見をつけて認定に付するものです。

反対討論①

石原 瞭 議員

「自治体の役割は、 まず市民のくらしを守ること」

平成21年度の焦点は、大幅な企業の税収(法人市民税)が落ち込むことが強調され、54項目で3億2,000万円におよぶ「事務事業の見直し」が打ち出された。

平成21年度の税収は、法人市民税は減収となったが、固定資産税の伸びもあって、バブル前の水準を維持している。

そのような中で実施された「事務事業の見直し」は、例えば、資源ゴミ収集団体育成補助金の廃止、障害者自立支援市単独補助事業、重度加算の見直し、寝たきり老人等のおむつ給付事業の見直し、一人親家庭等就学給付対象の見直しなど弱い立場の市民に大きな影響を与える問題が含まれていた。

また、職員の時間外手当削減、地域手当削減、定員の削減などは職員だけの問題ではなく、その後のこの地方の民間労働条件に大きな影響を与えることになり、ひいてはこの地方の地域経済に影響を与えることになる。

市民の感覚からすればそれほど厳しいというのなら、市道笠田新田坂東新田線道路改良工事など大型公共工事こそ一時凍結すべきではと提案もしてきたが、決算数字で明らかのように、これらのことは配慮されていない。

自治体の役割は、まず市民のくらしを守ることである。経済はいつそう深刻になる様相を示している中で、さらに市民に負担を負わそうとする傾向に厳重に抗議して反対討論とする。

反対討論②

川瀬 利夫 議員

「説明不足の事業には賛成できない」

我々政和会は、3月議会において市長に対し辞職勧告決議案を提出と同様に説明不足な施策、福祉バスの運行について福祉部所管の予算でありながら、まちづくり部が事業を行うことや、思いつきで始まった「ありがとう券」の利用方法等の長期展望の甘さについても賛成できない、よって平成21年度一般会計歳入歳出決算認定に反対する。

賛成討論

小川 克己 議員

「厳しい財政状況下、 効率の良い予算執行である」

平成21年度予算においては経済危機による厳しい財政の状況下、職員手当の見直しや物件費をはじめ、さまざまな経費について知恵と工夫により削減が図られている。

しかし、そういった中においても市民からの強い願いを受け、福祉施策や教育施設の充実については、選択と集中といった形における重点的な配分により着実に進められている。

また、「地域力の復活」の施策にも成果が上がっており、平成21年度一般会計決算については議決した予算が適正に執行しており、以上の観点から認定第1号の賛成討論とする。

●平成21年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定

(賛成多数 可決)

平成21年度の決算を、地方自治法の規定により、監査委員の意見をつけて認定に付するものです。

反対討論

衣笠 民子 議員

「介護保険料の値上げには反対」

第4期介護保険計画にのっとり、平成21年度から23年度の介護保険料が制定され、基準額は、前回の月額3,010円から3,180円と5.6%のアップとされた。前回の27%の大幅なアップに引き続く上昇であった。保険料の止めどない上昇に対して、当時、厚生労働省も「介護給付費準備基金の取り崩しで保険料の上昇を抑えるよう要請する」文書を出している。この要請を受け、東京都などでは、49区中37区が値下げまたは

保険料の据え置きをした。

いなべ市でも、1億円の介護給付費準備基金の取り崩しをして、保険料を算出しているが、厚労省の通達で示しているようにいなべ市でも、さらに基金を取り崩して保険料の据え置きをすべきだった。

日本共産党いなべ市議団は、3年ごとの保険料上昇をやむなしとせず、払える保険料、適切な介護サービスが必要であることを予算審議ののりに指摘し反対をした。住民の生活はますます厳しさを増している。よって決算認定においても反対する。

●議員報酬の削減を求める請願

(賛成少数 否決)

議員報酬の40%削減を求める請願

反対討論①

石原 瞭 議員

「報酬は住民の理解を得られる水準がある」

市民のくらしが大変なことは、全くその通りである。だからこそ議会は、市民のくらしを守ってがんばり、市民の立場で市長と対等に渡り合うことが求められる。

いなべ市の議員報酬月額39万円は、三重県内の14の市の中では9～11番目で志摩市、亀山市と同額であり、それより低いのは鳥羽市、尾鷲市、熊野市だけである。四日市市の58.9万円を筆頭にした水準から見ても決して高いものではない。ちなみに三重県の市議会議員の報酬の加重平均は42.95万円である。

いなべ市の議会費が予算に占める割合は1.11%で、報酬額39万円から税金・共済年金掛け金・議員互助会費が引かれると手取り26.75万円である。

これを請願の趣旨のように、40%削減すると23.4万円となり、手取りは約16万円となる。その結果、当選しても4年間だけの補償、退職金は無い。積み立てていて、もらえるはずだった議員年金はパンクして無くなるらしい。これでは、議員の報酬だけではくらしが成り立たず、議員に立候補することができない。

また、それほどまでにいなべ市の財政は深刻なのかという、誤ったメッセージを市民に発信することになるが、いなべ市の財政の現状は、大変健全であることが、「財政健全化比率」の数字で発表されたところある。

以上の理由から、この請願に反対する。

反対討論②

太田 政俊 議員

「若い世代議員の立候補の機会を奪うな」

議員報酬の削減は市民からみたら良いことかもしれないが、議員報酬を削減することによって、議員報酬では生計が立てられず、志のある若い世代議員たちの立候補の機会を奪うことになる。そうなれば、議会では年金生活の高齢議員が多数を占めることになり、若い人たちが議会の主導権を握ってほしい私の思いとしては、いなべ市にとって大きなマイナスとなる。よって、この請願には大反対の立場である。

賛成討論①

伊藤 正俊 議員

「市民が不況と闘っている現状の把握を」

新卒者の就職難、2009年の失業者44%増、失業手当1兆円突破、市内上場企業における希望退職募集、各種公共料金の値上げ等、市民がおかれている経済環境は非常に厳しい。多くの市民が不況と闘っている現状を認識して、市民負担を求める以上、議員自らがその報酬を削減することは必要と判断して本請願に賛成とする。

賛成討論②

清水 実 議員

「住民の生活を真剣に考えるべきだ」

賛成の理由は、今の国・県・市の予算実態ならびに住民の生活を真剣に考えた倫理からしても当然のことと考える。

県下の議員報酬（月額）

		議 員	議 長	副議長
1	四日市市	589,000円	691,000円	629,000円
2	津 市	550,000円	670,000円	610,000円
3	鈴 鹿 市	485,000円	613,000円	539,000円
4	桑 名 市	460,000円	590,000円	510,000円
5	伊 勢 市	451,000円	567,000円	509,000円
6	松 阪 市	450,000円	570,000円	509,000円
7	名 張 市	437,000円	553,000円	476,000円
8	伊 賀 市	423,000円	530,000円	467,000円
9	志 摩 市	390,000円	495,000円	420,000円
10	亀 山 市	390,000円	495,000円	420,000円
11	いなべ市	390,000円	495,000円	420,000円
12	熊 野 市	340,000円	440,000円	370,000円
13	鳥 羽 市	337,000円	445,000円	377,000円
14	尾 鷲 市	321,000円	425,000円	353,000円

いなべ市議会だより

●議員定数の削減を求める請願

(賛成少数 否決)

議員定数を20名から14名に削減を求める請願

反対討論①

衣笠 民子 議員

「定数削減は住民の参政権を縮小する」

本請願の住民からの願意は「市民がおかれている経済環境は厳しく、多くの市民が不況と闘っている」「議会はそうした立場に立って、市長提案について市民のくらしを守るチェック機能を果たして欲しい」というところにあるのではないかと。現在でも、いなべ市の議員数は、地方自治法に定められたいなべ市の法定定数26人に対して、20人と大きく下回っている。これは住民の参政権が縮小されているということである。どれだけ情報通信手段が発達しようとも、民主主義の実現には十分な議論が必要である。

また、憲法に規定された地方政治の二代表制、首長と議会で牽制しあってよりよい政治を行っていく機能は「議員は少なければ少ない方がよい」というのでは果たせない。請願の「議員活動に専念すれば」というくだりは、議会改革を進め、今議会で一般質問の一問一答方式も取り入れられたところである。議員各位がこうした改革に応え、レベルアップした質問ができるよう切磋琢磨することが求められ、専念せざるを得ない土俵がつくられつつある。定数を削減することが、けっして「議員活動に専念する議員」を増やす方策にはならない。「発言しない議員」「住民の立場に立たない議員」を排除するのは、選挙であって定数の削減ではない。

反対討論②

岡 英昭 議員

「議員定数削減の根拠が不明だ」

議員定数で近隣の東員町は15名、菰野町は18名、亀山市は22名であり、これまで全員協議会や各委員会等で議論を尽くして昨年20名と決定されたものである。これ以上少数になると対外的にも、また市民からの議会への信頼度も低くなる。

また、いなべ市の人口は増加しており、法定議員定数も26名であり、今後4年間はこの適正数でいくべきである。極端な削減数値は何を根拠に算出されたものか全く理解しがたく反対である。

反対討論③

小川 克己 議員

「なぜ議員定数の削減なのか、慎重に考えるべきだ」

議員定数の削減、議員報酬の削減は、一部の住民には受けるかと思うが、これは慎重に運ぶべき問題であると思う。合併在任特例の適用により60名の議員でスタートをし、2年後の市議会議員選挙では法定議員数上限の26名より2名減の24名で改選しており、さ

らに4年後の昨年の市議会議員選挙では4名減の定数20名としている。当市は広い地域に点在している約46,000人の民意を聞くには、これ以上の定数減は必要が無いと思う。「世論に沿う政策、国益とは限らず」と書かれており、我々の市議会議員定数削減とはレベルが違うが、信念と使命感を持って現在の定員数で頑張っていけば、必ず住民皆様の理解はいただけるものと確信して反対とする。

賛成討論①

清水 実 議員

「少子高齢化を考えれば議員定数削減は当然だ」

議員定数については少子高齢化が進み、今後の人口を考えれば当然と思う。

賛成討論②

伊藤 正俊 議員

「議員定数6名減でも市民の代表は務まる」

新卒者の就職難、2009年失業者44%増、失業手当1兆円突破、市内上場企業における希望退職募集、各種公共料金の値上げ等、市民がおかれている経済環境は厳しく、多くの市民が不況と闘っている。

議員20名で議会費年間2億円は、この時期においては多額である。近年、情報通信手段は格段に進歩しており、議員定数6名減でも議員活動に専念すれば市民の代表は務まると確信している。請願内容は時期を得ていると判断して請願に賛成する。

県下の議員定数 (平成22年3月発行市町要覧抜粋)			
		法定定数	条例定数
1	四日市市	46人	36人
2	津市	38人	36人
3	伊賀市	34人	28人
4	伊勢市	34人	28人
5	松阪市	34人	30人
6	鈴鹿市	34人	32人
7	桑名市	34人	30人
8	志摩市	30人	22人
9	名張市	30人	20人
10	亀山市	26人	22人
11	いなべ市	26人	20人
12	熊野市	26人	18人
13	鳥羽市	26人	16人
14	尾鷲市	26人	16人

法定定数: 人口に応じた上限の議員数
条例定数: 条例で実際に定めている議員数

●市長の給与の削減を求める請願

(賛成少数 否決)

市長給与の35%削減を求める請願

反対討論

太田 政俊 議員

「市長の給与は適正だ」

市長職は激務である。県下の市長給与を見ても低い方であり、増額が検討されてもよい程度で、何の根拠もない大幅な減額提示は無意味で許しがたく反対である。

県下の市長給料（月額）		
1	津 市	1,130,000円
2	四日市市	1,099,000円
3	鈴 鹿 市	1,058,000円
4	桑 名 市	1,028,000円
5	松 阪 市	1,013,000円
6	伊 勢 市	1,010,000円
7	亀 山 市	995,000円
8	いなべ市	950,000円
9	伊 賀 市	924,000円
10	名 張 市	900,000円
11	志 摩 市	900,000円
12	尾 鷲 市	900,000円
13	熊 野 市	900,000円
14	鳥 羽 市	890,000円

賛成討論①

伊藤 正俊 議員

「市長は速やかに給与の減額を」

市長給与を35%減額されるよう請願する。前議案同様の賛成理由で、市長自らが請願書のとおり給与削減を実施し、行政に取り組む姿勢が大事と考え請願に賛成する。

賛成討論②

清水 実 議員

「不況の時代こそ市長の給与削減を」

市長の給与については、不況にある世相からと日常の活動から考えて当然と思われるので賛成とする。

議案の審議結果一覧表

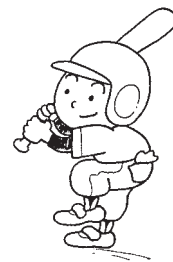
賛成と反対に分かれた案件

～ 下記以外の30案件は全員賛成で可決(採択)しました ～

議長 伊藤 弘美は採決に加わらない。○は賛成 ×は反対（付託委員会/総：総務常任委員会 教：教育民生常任委員会 産：産業建設常任委員会）

会 派			新政いなべ						明正クラブ			政和会			いなべ市議団 日本共産党		アクティブいなべ	自由改革クラブ	公明いなべ	藤の会	市民の会	石楠花会
議 案 名	付託委員会	審議結果	岡 英昭	位田まさ子	種村 正巳	伊藤 弘美	林 正男	太田 政俊	近藤 幸洋	小林 俊彦	水貝 一道	多湖 克典	川瀬 利夫	水谷 治喜	衣笠 民子	石原 瞭	奥岡 征士	小川 克己	鈴木 順子	伊藤 正俊	清水 実	小林 昌彦
平成22年度一般会計補正予算（第5号）	総・教・産	可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
平成22年度水道事業会計補正予算（第1号）	産	可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○
平成21年度一般会計歳入歳出決算認定	総・教・産	可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○
平成21年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定	教	可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
平成21年度水道事業会計決算認定	産	可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
義務教育費国庫負担制度の存続と全額国負担を求める請願	教	採択	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
議員報酬の削減を求める請願	総	不採択	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×
議員定数の削減を求める請願	総	不採択	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×
市長の給与の削減を求める請願	総	不採択	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×
義務教育費国庫負担制度の存続と全額国負担を求める意見書の提出	教	可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○

いなべ市でスポーツや文化芸術活動に励む 児童・生徒を応援することを決議 ～いなべ総合学園高校野球部の甲子園出場を機に～



この決議は、いなべ総合学園高校野球部が念願の甲子園出場を果たし、いなべ市民をはじめ多くの人たちに大きな感動と元気を与えてくれたことを機に、勉学とともにスポーツおよび文化芸術活動に励むいなべ市の児童・生徒を、いなべ市議会として積極的に応援することを誓うものです。

9月定例議会において議員発議として決議案が提出され、全会一致により可決されました。

いなべ市でスポーツや文化芸術活動に励む 児童・生徒を応援するための決議

この夏、いなべ総合学園野球部が宿願の甲子園出場（全国高等学校野球選手権大会出場）を果たし、その夢の初舞台ではつらつとした爽やかなプレーは、いなべ市民をはじめ、多くの人たちに大きな感動と元気を与えてくれました。そして「いなべ」の名が、球児たちによって全国的に発信され、正に平成22年（2010年）は、いなべ市にとって歴史上記念すべき年となったといえます。

いなべ総合学園野球部の活躍に沸いた夏でしたが、いなべ市内の学校に通学する児童・生徒やいなべ市在住で市外の学校に通学する児童・生徒の中には、同じようにスポーツに励み、全国規模の大会に出場している選手がたくさんいます。また、文化芸術活動に励み、大きな発表会や展覧会などで入賞するなど、めざましい活躍をしている児童・生徒もたくさんいます。このように能力や可能性を秘めた子どもたちが熱心に活動し、感性が磨かれていくことは素晴らしいことです。スポーツや文化芸術活動は、子どもたちの健やかな心を育み、人生に豊かな時を刻みます。スポーツや文化芸術に育まれた子どもたちは、未来の健やかな「いなべ市」の大きな財産となります。

いなべ市議会は、いなべ総合学園野球部の甲子園出場を機に、夢と希望に満ち、勉学とともにスポーツや文化芸術に励むいなべ市の児童・生徒を積極的に応援することをここに誓います。

以上、決議します。

平成22年9月27日

いなべ市議会

上記の決議は、スポーツおよび文化芸術活動に励むいなべ市の児童・生徒を積極的に応援するための決議ですが、「すべてのいなべ市の子どもたちが、よりよい環境のもと心身とも健やかに成長していくこと」を応援していくことは議会として当然です。その前提の上で行った決議です。

お詫び

前号の議会だよりP2下段の

経常利益「約1億7,000万円、当期総損失」約16億5,000万円の計上です。

の記事におきまして、括弧内の文字が欠落しており、大変ご迷惑をおかけしました。訂正してお詫び申し上げます。

一般質問

あなたの声を市政に

9月8日・9日に11人の議員が一般質問を行いました。
質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

- 1.新学習指導要領の完全実施に向けた準備状況は
- 2.高齢者および障がい者への支援政策は
- 3.引きこもりへの防止策は
- 4.平和市長会議への加盟を求める



新政いなべ

岡 英 昭

【質問1】 来年度からの新学習指導要領の完全実施に向けた小・中学校の進捗状況は。

【教育長】 ①小学校に入る英語の授業にALTと担任がチームを組み先行実施している。②保育園、小・中学校の校種間で相互研修会を行い、円滑な接続を図っている。③授業時数の確保と朝、放課後、長期休業中に補習など学力低下の回復措置に努めており土曜日出校はしない。④主要教科の授業時数増加に水曜5限、他の曜日に6限を設ける時間割編成を行っている。⑤インクルーシブ教育（障がい者と障がいをもたない人が共に学ぶ）に児童の交流等を行い、介助員、支援員を全学校に配置している。

【質問2】 丹生川保育園の隣に高齢者施設ができたが今後の新施設への支援は。

【福祉部長】 民設民営方式を採り、市内に不足する介護サービス事業への民間参入を促すため公有財産の有効活用と補助金交付を行う。

【質問3】 自殺者が3万人を超え、関連する引きこもりが社会問題化しているが防止策は。

【福祉部長】 市内でも自殺者が増大している。福祉部、教育委員会等の関係機関が連携を密にして相談事業等防止策を講じる。

【質問4】 以前から非公式に紹介していた平和市長会議へ加盟し、市長が「平和」のブランドを構築する活動を求める。

【市長】 2月に申請し、4月加入が認められたので報告する。核廃絶や平和への事業に他の都市と連携を進める。



デイサービスセンター ひばりの里(丹生川保育園隣)



新政いなべ
位田まさ子

- 1.市営住宅の現状と今後の新築計画を問う
- 2.地域見守りネットワークの必要性を問う

【質問1】 いなべ市内の市営住宅の現状と今後の新築計画について聞く。

【建設次長】 員弁の住宅31戸、空き家1戸。大安20戸、空き家無し。北勢15戸、空き家12戸で13戸の空き家は、今後の解体対象としている。周辺の空き地の維持管理、防犯、土地の売却については、年2回の除草剤で管理し、今後も十分に気をつけ、空き地の売却も考える。

【市長】 財源が無いので、今は新築をする計画はない。大安の改良住宅は個別に払い下げしているが、その他の公営住宅は、全戸一括購入でないと払い下げができない。また、土地については売買が出来るので普通財産として今後売却する。

【質問2】 いなべ市内の高齢者数、安否確認、お世話になる民生委員さんの現状と地域見守りネットワークの必要性について聞く。

【市長・市民部長】 90歳以上が531名、100歳以上が16名のうち、一人暮らしは5名だが3名が施設入居安否確認済み。戸籍のみの100歳以上は79名。

【福祉部長】 民生、児童委員は市内に100名。1人につき約120名を担当し、生活弱者の把握、地域の重要な役割を担い感謝している。ボランティアといえ、活動日数が多いため厚生労働省に待遇の改善を要望している。地域見守りは平成18年から立ち上げ、平成22年度は、認知症の取り組みを本市がモデル地域となり、これからはしっかりと構築していく。



市営いなべ中央住宅



政和会
水谷治喜

臨時議会を開会する時間があつたのではないのか

【質問1】 いなべ市内の各種団体等に対する全国大会等出場などの報奨金、補助金等について質問をする。今回のいなべ総合学園「夏の甲子園初出場」の快挙に対しての報償に異論はない。しかし、「いなべ市スポーツ競技全国大会出場賞賜金交付要綱第4条の2項にある前項の規定にかかわらず、教育委員会が特に必要と認めた場合は、その限度を超えた賞賜金を交付することができる」を理由に400万円の支出根拠が曖昧で、明確でない特別な報償であるのであれば、専決予算ではなく臨時議会を招集して議決してから支出すべきではなかったのか。

【教育部長】 臨時議会を召集する時間的余裕がなく専決予算にした。

【再質問】 甲子園への出場決定が7月28日、専決予算が7月30日付、甲子園の開会が8月7日、実際に400万円を振り込まれたのが8月25日である。臨時議会を開催する時間はあつたと思うし、専決予算ありきの議会軽視ではないか。「いなべ市スポーツ競技全国大会出場賞賜金交付要綱第4条の2項」が賞賜金の額が一部の人の判断によって決定されることは透明ではなく、市民に誤解を招く恐れがあるので、これを機会に基準を明確にすべきではないか。市民から見て透明で公平な条例や要綱の施行が必要である。税金を執行する行政とし取り組むべきではないか。



いなべ総合学園野球部アルプス応援席（阪神甲子園球場）

- 1.直営バス運行についてサービスの低下はないのか
- 2.市職員の採用および定員管理について問う



政和会

多湖克典

【質問1】 コミバスから福祉バス、スクールバスにかわりサービス低下はないか。①事故等の発生状況は。②路線の変更や停留所の追加は考えているのか。③9月補正予算で運行委託料を計上しているが、説明もなく4月より委託を開始したのはなぜか。スクールバスの時間調整は、学校の都合を優先して運用してもらいたい。

【まちづくり次長】 ①車内転倒事故2件、車両接触(物損)事故13件、交通違反1件、乗せ漏れ・降ろし漏れ25件。②変更についての要望も多くいただいているので早急に検討したい。

【教育部長】 ③三岐鉄道に委託している。当初の予定通りシルバー人材で運転手が確保できなかったため、4月から運行委託している。9月補正予算の説明が遅くなり申し訳ない。

【質問2】 ①新規職員の採用計画と過去3年間の状況と採用実績は。②職員数と人事交流について、いなべ市と同様の自治体と比較して職員数の状況はどうか。他団体との人事交流はどうか、現状を問う。企画部長も三重県からの人事交流であるが、今後は県へ戻るのか、あるいはいつまで、いなべ市に在籍するのか。③定年退職者等の再任用制度について、いなべ市の制度の概要と運用方針を問う。

【総務部長】 新規採用は平成20年度3名、平成21年度4名。平成22年度は4名採用、人事交流の派遣は5名、受入は11名、再任用制度の運用実績はない。



福祉バス

- 1.学校給食に地産地消の推進を
- 2.総合福祉センター用地の今後を問う
- 3.すべての市民に広報誌の配布を



日本共産党いなべ市議団

衣笠民子

【質問1】 ①地元食材の利用割合は。また食材の発注方法は。②地産地消を進める方策は。

【教育部長】 ①直営センター方式(大安学校給食センター・大安町小中学校、員弁西小学校)・野菜7.6%、卵、米100%。地元の店といなべっこから見積もりを取り安いところに発注。民間委託センター方式(藤原学校給食センター・藤原町小中学校)・野菜0.1%、米100%。委託先が行っている。直営自校方式(員弁東小学校)米100%。直営自校方式(北勢町小学校)野菜17%、豚肉、豆腐100%。物品ごと町内業者から見積もりを取り安いところに発注。②山郷小学校(直営自校方式)が生産者との連携や交流会、試食会、産地の見学等行って地産地消を活かした活動をしている。生産者と調理室、調理員が密接に関わることが必要。献立を早めに公開

し、必要な時期・量・種類を生産者に知らせ、作りやすい状況をつくる。

【質問2】 総合福祉センター用地利用変更の説明を。

【市長】 国の方針が大規模から小規模、地域密着型に変わったため福祉センター建設はなくなり、(株)サラダコスモの誘致へととなった。

【質問3】 ①自治会未加入世帯の配布件数は。拠点に取りに来ている部数は。②全世帯配布に近づける方策は。

【企画部長】 ①634部。480部。②働きかけを続けていきたい。



藤原学校給食センター



日本共産党いなべ市議団

石原 瞭

- 1.「高齢者行方不明問題」を契機に孤立を防ぐ対策を
- 2.第2期集中改革プラン「市民負担増・サービスの切り捨てでなく、市民のくらしの実態に目を向けよ」

【質問1】 いなべ市における、高齢者の安否確認の状況は。孤立を防ぐための「高齢者見守りネットワーク」計画の現状は。また、今後はどうしていくのか。

【福祉部長】 88歳以上の方は調査して所在確認をした。安否確認は、民生委員さんに力をお借りしている。

また、包括支援センターでも、特定の高齢者について総合相談として、電話、訪問、来庁で行っている。

「見守りネットワーク」は、今年度、認知症サポーター養成に力を入れている。今後は、地域での事業周知に努め、モデル地域を選定して進めたい。

【質問2】 第2期集中改革プランは、何を指すのか。

市税、国民健康保険料、水道料金の滞納整理は「指針」等のルールをつくり、「差し押さえ」や「給水停止」は、慎重にすべきでは。プランの中身は、市民負担増・サービスの切り捨てだが、市民のくらしの実態をどう見るのか。

【企画部長】 公共料金適正化など、市民のみなさんにも痛みを伴う改革もお願いする。税収の落ち込み、交付税算定で合併特例が終了間近なのでスピードアップをする。

【水道部長】 給水停止は最後の手段だが、水道法、市の規定に基づいて、効率的な手段として徴収強化を図る。

【市長】 所得格差が拡大しているように感じる。低所得者層に配慮した市政運営に努める。



認知症サポーター養成講座



市民の会

清水 実

- 1.白石工業に不法放置のP C B入り高圧トランスの処理は
- 2.藤原岳の開発により危機に瀕するイヌワシを保護できるのか

【質問1】 ①高圧トランスの存在を知っていたのか。②大変なことだと思い現場確認をしたのか。③周辺の環境汚染調査を行ったのか。④立田地区での説明会を行うのか。⑤今後の処理と管理はどうするのか。⑥他の所にも高圧トランスの存在の調査を。

【市民部長】 ①合併前、法的規制がない時期であった。②早急に課長と現場確認をした。③県が8月10日に再度調査し、微量のP C Bが出たが分析結果を待って市も協力して指導する。⑤地元への説明は必要で、県と共に事業者を指導する。⑥法の定めに従い事業者の義務だが、市としても広報等で啓発したい。

【質問2】 ①イヌワシの具体的な保護策は。②教育長自身が現地調査に同行を。③環境影響評価方法書への市長の見解は。

【教育長】 ①アセス結果を多面的に検討し、文化財の観点から最大限の努力をする。②現地へは同行する。

【市長】 ③野鳥の会（村田芳雄氏）の情報で太平洋セメントと話し、事業区域縮小も視野に入れて検討したい。



イヌワシ

- 1.企業誘致活動と土地開発公社の塩漬け土地売却についての留意点は
- 2.ますます落ち込む市民税収と待った無しの行財政改革を問う
- 3.老人福祉政策と生活保護世帯の現状はどうなっているのか



アクティブいなべ

奥岡 征士

【質問1】 土地開発公社保有地を販売可能にする特定土地化とは、過去に刑事告発に至った物件である総合福祉センター用地の売却には、しっかりと調査し、問題の再発防止を図ることが議会の務めであり、購入時の国・県・税務署等との協議書を確認したい。また、(株)サラダコスモへの用地提供は、もっと安価な別の土地を勧めたのか。

【市長・副市長・まちづくり次長】 特定土地化は、公有地を販売可能にする総務省通達によるものである。元地主には購入当初との目的変更について説明しているし、税金の負担も無い。協議書は後日提出する。

【質問2】 事業仕分けについて市長の所見は。内部評価をする事業評価システムとの相違点は。公有

財産の合理化の状況、一般廃棄物処理費とゴミ有料化の検討は。

【市長・企画部長・市民部長】 事業仕分けは、話題性と世間の注目度は高いが、責任の取れない外部者を入れてはダメ。事業仕分けは人間の性悪説が発想であり、行政改革を進めようとする職員の主体性が異なる。ゴミ処理費用は年々減少しているので、これ以上の有料化は考えていない。

【質問3】 生活保護世帯の現状は。

【福祉部長】 96世帯で2億円余である。



総合福祉センター用地

- 1.財政強化に向けた具体策はあるのか
- 2.土地(公有財産)の活用について問う



藤の会

伊藤 正俊

【質問1】 国の借金残高が900兆円、借金が景気を支え、行政サービスを維持していると感じる。負担増の前に、事業仕分けで無駄の排除、議員報酬・議員定数の削減など、財政再建に向けた議論が活発になっている。

「藤の会」アンケート調査結果、寄せられた市民の皆さんの意見を加重平均して集約すると、『議員報酬40%減額、議員定数6名減の14名、市長給与35%減額』となった。市長は、議員報酬の減額、議員定数削減、市長給与の減額を提案する考えはないのか。アンケート調査結果に対して、市長の見解、財政強化に向けた具体的な取り組み姿勢を聞く。

【市長】 他市と比較して議員報酬、議員定数、市長給与ともバランスの取れたものと認識しており、

今、変更提案する気持ちはない。財政強化については、義務的経費の抑制、繰り上げ償還などを努力している。

【質問2】 普通財産において田・畑、約92,200㎡が現在高、約77,400㎡となった。年度途中に約14,000㎡は何に活用したのか。また、普通財産としていつ所有したのか。農地法では市が田・畑を所有することを認めているのか。

【総務部長】 売却、台帳整合で減った。農地法では基本的には市の所有を認めてない。合併以前の各町それぞれの事情があって取得されたものであり、詳しくはわからない。



いなべ市内の田



石榑花会
小林 昌彦

国道421号線「石榑トンネル」開通に向けての現状を問う

【質問】 ①取りつけ道路の進捗状況、石榑峠付近の復旧工事の進捗状況は。②開通後の通行車両の増加が予想される中、沿線住民に対する安全対策はどのように考えているのか。③開通による当市への経済効果と宇賀溪キャンプ場を整備してはどうか。

【建設次長】 ①全体工事の80%が済みであり、平成22年度末には完成し使用開始に向けて整備を進めている。また、災害10カ所中、7カ所は復旧工事が終了しており、残り3カ所が現在工事中であるため、平成22年度末には完了する予定である。②R421号と旧R306号の交差点の信号機設置について地元自治体からの要望もあり、市からいなべ警察署へ要望書を提出した。規制等についても県を通じて公安委員会への要望が必要である。

【農林商工部長】 ③地元森林組合の所有管理運営であるために十分協議して将来の整備計画を策定していきたい。



石榑トンネル付近



公明いなべ
鈴木 順子

1.人権および命を守る取り組みについて問う
2.デージー教科書の認識と取り組み状況は

【質問1】 ①HTLV-1の抗体検査の導入について、啓発と併せて感染者の相談、支援体制の整備が必要であるが市の取り組みは。②子宮頸がん予防ワクチンについての健康教育の進捗状況は。③成年後見制度の必要性について。

【福祉部長】 ①HTLV-1の抗体検査については、妊婦健康診査において受診し、医師から指導されている。いなべ市の妊婦教室においても啓発を開始した。②健康教育については、いなべ総合病院、教育委員会、福祉部の協同で、中学校において「命の教室」として年度末までに実施予定している。③成年後見制度については、重要な制度だと認識している。成年後見制度利用支援事業として補助対象者に必要な経費を助成する制度もある。

【質問2】 発達障害児の「読み」を支援するために、パソコンを使って文章を表示、音声化するデージー教科書についての認識と取り組みについて聞く。

【教育部長】 教科書のバリアフリー法により、デージー教科書が策定できるようになった。効果的な取り組みができると考えるが、いなべ市の教育委員会として、子どもたちの学習環境を整えるために、教材、指導方法について、研究を行っていくことが重要だと考えている。



子宮頸がん検診無料クーポン券



市民の声

クイズの応募ハガキに書き添えられた、議会・議会だよりなどに対するご意見やご感想を紹介します。

◎ 年齢を重ね平和の尊さを願い、いなべ市に生活出来る事を感謝して生きていきたいと思ひます。議会の傍聴の機会に恵まれず、議会だよりが届く月が楽しみです。 70歳 女性

◎ 「みんないっけ」を楽しみに拝読させてもらっています。来年度は長男が石樽保育園を卒園し、石樽小学校に入学予定です。楽しみもあり、不安もあります。が頑張りたいと思ひます。 31歳 女性
(※みんないっけ……石樽地域の広報誌)

◎ 議会だより大変わかりやすく良い。 72歳 女性

◎ 市議会の事につきましては、もっと勉強しなくては判りづらいのですが年齢も年齢です。でも、議会だよりを時々拝見して、議員の方々が一生懸命頑張つて下さる事を心から感謝致します。 76歳 女性

◎ 各委員会の視察研修報告があり良いです。研修で得た良い情報は是非市政に反映させていただきたいです。 47歳 男性

◎ 議会だよりの一般質問と答弁が上手くまとめられレイアウトも良く、とても読み易く理解できます。これからも期待致します。 64歳 女性

◎ 水道料金の統一化を是非進めてほしい。 67歳 男性

◎ 議員の質問が抽象的でハッキリしない。同じ質問が多いと思う。市の回答も一般的な返事で具体的にはさっぱり判らない。老人には政治用語は判らない。もっと平易な普通の言葉で発表してほしい。 88歳 女性

◎ 市内現地視察で各施設がどうあるべきだとか、今後どうあるべきだとかの感想がない。現状を見て議員もどうあるべきかを議論してほしい。また、議員もボランティアにかかわってほしい。 71歳 男性

◎ 各委員会の視察研修報告があり良くわかりました。いなべ市が他の市町村の研修を受け入れる事はあるのでしょうか。あった場合は、その報告を期待しています。 46歳 男性

◎ 社会福祉協議会内のデイサービスにお世話になっておりますが、職員の皆さんへの優遇をお願いします。 91歳 男性

◎ いつも議会だよりを読ませてもらっています。委員さんの御苦労も大変とわかりますし、市の予算の入用も大変とわかります。老人なりに心配しています。皆さんがんばって下さい。 81歳 女性

◎ 議会定数について次の選挙までによく御議論ください。 男性

◎ いつも議会だよりを読ませていただき、市の事がよくわかりありがたいと思う。 80歳 男性

◎ 良くわかるように書いてあるので理解しやすいです。 41歳 女性

◎ 各委員会の視察研修報告がありよくわかりました。いなべ市が他市からこの様な研修を受け入れることはあるのでしょうか。あった時は是非知らせていただきたいです。 76歳 男性

◎ いなべ市の議会の様子が細かく、説明や写真をとつても親切に有難うございます。高齢になっていきますので福祉関係もよろしくお願い致します。 69歳 女性

◎ 表紙の蛍の乱舞はとても不思議な感じでした。来年も多くの蛍が見られるといいですね。 38歳 女性

◎ 毎月、「いなべ市議会だより」を楽しく興味深く拝見しています。我が家にも幼い子供がいるので必要な色々な情報を「だより」から得ています。今後、いなべ市がさらに住みよい町になる事を期待しています。 29歳 女性

◎ 機会があったら議会室に入って議員さんの質疑を聞いてみたいです。 女性

◎ 視察研修を生かして、すばらしいいなべ市を目指して下さい。 64歳 女性

◎ 議会の皆さまには市民の生活の為、色々難しい話をさせていただきありがとうございます。私事で野外焼却の事なのですが、隣の畑の所有者が朝早くから竹を燃やすのです。パンパンとすごい音がし、土、日はみんなゆっくり休みたいのに朝から大きな音を出し迷惑です。所有者は自分の家の近くでされたらと思わないのでしょうか。いなべ市情報誌のP14にも掲載してありましたが、畑の所有者は気が付かないのかすごく不愉快です。どうにかならないのでしょうか。 51歳 女性

◎ 議員さんと市長さんはいつもどんな話をしているかわからないけれど、議会だよりを見ると納得します。これからもドンドン意見を出して市長さんからの答えを聞きたいです。 61歳 女性

クイズ当選者

ご応募いただき、ありがとうございました。

正解は、問1 ③特定土地 問2 ①ウシ 問3 議会(改)革委員会

正解者の中から、厳正に抽選を行った結果、次の15人の方が当選されました。

下 笠 田	多湖由美子 様	丹生川久下	水谷八重子 様
みその団地	松木 重子 様	東 村 西	西脇 克志 様
畑 新 田	市川 恵子 様	南 中 津 原	伊藤美智枝 様
丹生川上北	梅山 利光 様	東 貝 野	片山 とい 様
南 中 津 原	伊藤 了 様	下 笠 田	辻 恵美子 様
石 川	伊藤 一昭 様	畑 新 田	市川 真妃 様
南 金 井	清水 朝美 様	東 町 3	川瀬 龍夫 様
東 村 西	西脇 則良 様		

応募いただいた「ハガキ」にご記入の個人情報については、目的以外に一切使用いたしません。

議 会 広 報 編 集 委 員 会

私たちが議会だより第24号から第27号の作成を担当しました。



左から、衣笠民子 委員、清水 実 委員
多湖克典 副委員長、岡 英昭 委員長
林 正男 委員、伊藤正俊 委員

編集後記

残暑の厳しい中、9月定例会が開催されました。今年の夏は異常な暑さでしたが、いなべ総合学園高校の甲子園出場でも熱くなりました。議会では甲子園出場の賞賜金支出の件も議論され、平成21年度決算についても議論が交わされました。議会での議論が市民のみなさまにわかりやすく届けられるよう努力していますが、まだまだ専門的な言葉があり、説明不足な面があると感じています。今後もより見やすい紙面でみなさまにご報告できるようがんばって編集していきますので、皆様のご意見をお待ちしています。

12月定例議会（予定）

- ◆開会日……………11月29日(月)
- 一般質問……………12月 2日(木)
- ……………12月 3日(金)
- 総括質疑……………12月 8日(水)
- 総務常任委員会……………12月 8日(水)
- 教育民生常任委員会…12月 9日(木)
- 産業建設常任委員会…12月10日(金)
- ◆閉会日……………12月16日(木)

皆さんからのご意見、
ご感想をお待ちしております。

連絡先

〒511-0292
三重県いなべ市大安町大井田2705番地
いなべ市議会 議会事務局
TEL (0594) 78-3515 / FAX (0594) 78-3516
<http://www.city.inabe.mie.jp/~gikai/>